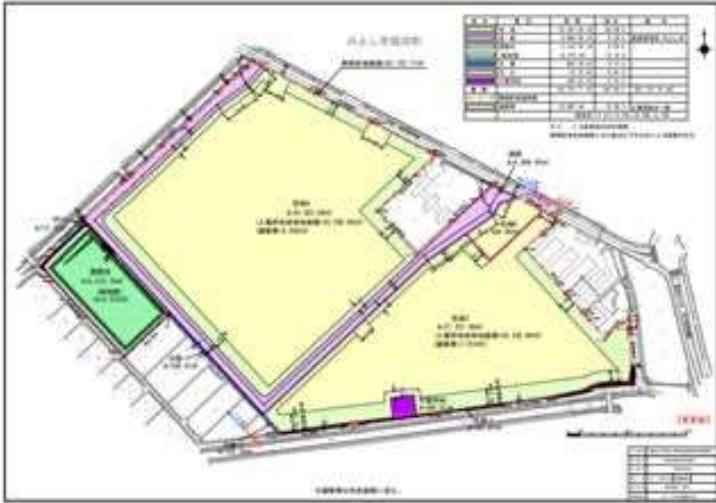


みよし市	所属議員	渡邊郁夫 (会派代表)、高木和彦
-------------	------	------------------

産業目線

【活動項目】 ②企業誘致	【活動テーマ】 企業誘致に向けた支援	
到達目標	<p>【中長期】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誘致を進め安定的な雇用の確保と税収の増加を目指し、企業ニーズを収集し企業に選ばれる新たな企業誘致ができる開発地の検討と整備。 <p>【29期(後)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「福田池下地区」進出企業決定 ・「八和田山地区」工業団地実施計画の作成 	
前回まで 活動状況	<p>1. 令和3年度予算において「工業団地実施計画作成業務委託（明知町八和田山地区）150万円の予算が計上。</p> <p>《概要》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施方針の検討、事業主体の検討、事業計画の作成（面積23ha） ・2023年3月には刈谷スマートインターチェンジが供用開始の予定されており、今後、明知町八和田山地区への注目度はさらに高まっていくと予想される。 	
今回 具体的活動 今回の進捗 【○】 ◎…予定前倒し ○…予定通り △…遅れあり	<p>【主な活動】</p> <p>1. 誘致企業の今後の計画の確認と行政支援について 「福田池下地区」の造成状況は70%完了。 令和4年3月25日までに完了し県の審査を受け引き渡しの予定。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パイロットインキ（株）は令和4年度に1次操業を開始予定。 ・ナニワ（株）は現在未定。 	
今後の活動	<ul style="list-style-type: none"> ・誘致企業の今後の計画の確認と行政支援について ・本市への進出要望企業の確認と新たな企業誘致の開発について 	



みよし市	所属議員	渡邊郁夫（会派代表）、高木和彦
-------------	------	-----------------

組合員目線

【活動項目】④防災	【活動テーマ】感染症に対応した新たな避難所	
到達目標	<p>【中長期】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染症に対応した避難所運営の構築（例：熱中症対策等） <p>【29期（後）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在宅避難への備え周知と把握 	
前回まで 活動状況	<p>1. 要望事項の進捗と感染症対応の状況の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度予算において、市内4中学校屋内運動場（体育館）空調機設置工事設計費580万円が計上。 <p>《概要》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安心して学ぶことができる環境の確保と災害発生時に避難者の安全を守るため 全ての中学校の屋内運動場（体育館）に空調機を設置する。 <p>2. 在宅避難に向けた周知と支援の検討（友人・知人宅への事前避難啓発活動等）</p> <p>総務協働委員会から提言（渡邊議員：委員として所属）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍において複合災害での公共施設の在り方について（集会所、公民館、児童館等）6項目 	
今回 具体的活動	今回の進捗 【○】	<p>【主な活動】</p> <p>1. 在宅避難に向けた周知と支援（一般質問：高木和彦）</p> <p>問 在宅避難を推奨している中、家庭での非常食備蓄状況の把握が必要と考えますが</p> <p>答 市独自の調査は行わず、愛知県の調査結果を参考として取り組んできました。</p> <p>昨年度、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受けて、避難所のあり方を大きく見直しました。その一つとして、避難所が密にならないよう、自宅の安全が確保されている場合は、「在宅避難」を推奨するなど、市民の皆様にもご協力をお願いしています。地域防災力をさらに強化するには、市の実情をしっかりと把握することが重要です。本年度中に実施を予定している行政評価アンケートにより、各家庭の非常食の備蓄状況を把握したいと考えております。</p>
◎…予定前倒し ○…予定通り △…遅れあり	<ul style="list-style-type: none"> ・各家庭での備蓄品の状況を把握 ・備蓄品の配布方法の検討 ・備蓄品の配布や斡旋の検討 ・ローリングストックの周知 	
今後の活動	<ul style="list-style-type: none"> ・他市町の新たな避難所の調査研究 ・在宅避難に向けた周知と支援 ・行政評価アンケートにより、各家庭の非常食の備蓄状況の確認 	



(参考) みよし市 テーマ登録背景

(1)産業目線 産業目線①～④項目から選択

みよし市取り組み項目	①企業誘致
みよし市取り組みテーマ	企業誘致に向けた支援
選定理由・背景・思い	
<ul style="list-style-type: none"> 平成29年度に「産業立地推進プロジェクト」を組織し、平成30年度に「小規模企業振興基本条例」を制定されました。また、新たに産業立地に向けた方向性のアンケート調査を行い。その結果を踏まえ「企業立地促進条例」を制定されました。 今後、本市への企業誘致に向け「場所」だけでなく様々な分野での要望など調査し企業の誘致を図る。 工業用地域として、福田池下地区（開発面積8.4ha 分譲面積6.9ha）を開発。 さらに、企業誘致を進めるため新たな工業用地の開発が必要。 	
組織内議員の具体的な取り組み内容	
<ul style="list-style-type: none"> 今後、工場建設に向け様々な企業ニーズや相談対応が必要とされる。 新たに進出する企業及び市内企業の事業拡大等、企業ニーズや情報収集することが重要であり、企業ニーズや情報を基に将来のみよし市を支える企業誘致と雇用の確保の状況をフォロー 	

(2)組合員目線 組合員目線①～⑥項目から選択

みよし市取り組み項目	④防災
みよし市取り組みテーマ	感染症にも対応した新たな避難所
選定理由・背景・思い	
<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症により、避難所での「三密」対策が必要となった。今までは避難所で2㎡/人を想定していたがコロナ禍での感染症防止の観点から4㎡/人に変更したことにより倍の避難所面積確保が課題となった。今後、感染症にも対応が可能である新たな避難所のあり方が必要とされる。 避難時の利用面積/人を2㎡⇒4㎡に変更したことにより16ヶ所の広域避難所避難者収容人数が減少。 マスク着用による夏場の熱中症対策が必要 	
組織内議員の具体的な取り組み内容	
<ul style="list-style-type: none"> 避難所対応人数の確保に向けた新たな避難場所選定（学校教室の利用を想定する等） 在宅避難ができる支援策の検討（V2H普及、PHV、FCV等活用） 熱中症等を踏まえた対応策の検討 台風、大雨等時での友人・知人宅への事前避難啓発活動 	